株式会社　朝日新聞社

# 飲酒に関するポリシー（概要）

飲酒する人も、しない人も、誰もが安心して働ける職場へ

## 基本的な考え方

朝日新聞社は、お客様から信頼され、社会に必要とされる存在であり続けるため、健康経営の一環として、飲酒に関する課題に取り組みます。過度な飲酒がもたらす健康や安全へのリスクをなくし、飲酒をする人も、しない人も、誰もが安心して働ける職場づくりをめざします。

そのために、お酒との付き合い方についての理解を深め、自分自身だけでなく、仲間も、共に健康で楽しく過ごせる行動を推奨します。また、体質や性別、健康状態、ライフステージなど、ひとりひとり異なる背景に配慮し、飲酒に対する多様な価値観を尊重する風土を育てていきます。

朝日新聞社、朝日新聞健康保険組合、そして従業員やその家族が協力し合い、効果的な取り組みを朝日新聞グループ全体にも広く推奨していきます。

## ３つの取り組み

- **執務スペース、会議室では原則飲酒できません。職場にお酒を置かないようにしましょう。**
- **社内の飲み会は一次会までを推奨します。無理なく楽しみましょう。**
- **お酒を伴わないコミュニケーションの場（コーヒーミーティング、ランチ会、社内イベント等）も活用しましょう。**

**必要な情報提供やフォローアップなどを行い、無理のない行動変容を支援していきます。**